

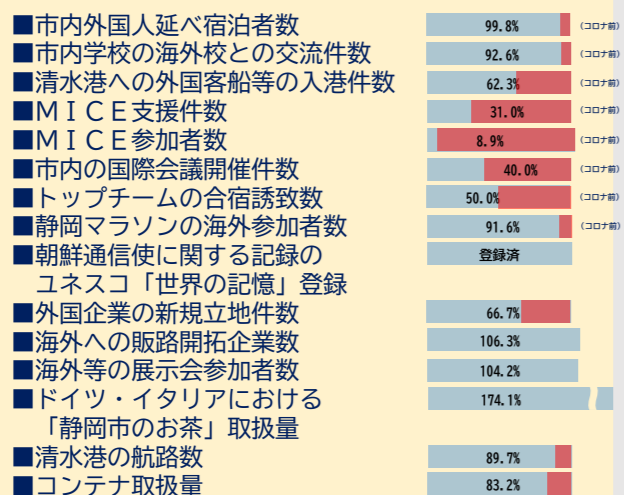
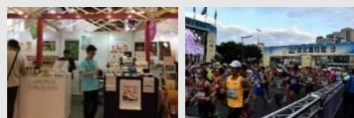
第2期静岡市地域外交基本方針 概要版

1. 第1期基本方針における取組と現状 【目的】海外との交流を通じた「地域経済の活性化」

1) 第1期期間中の取組結果

<方針1> 地域経済活性化に直結する取組

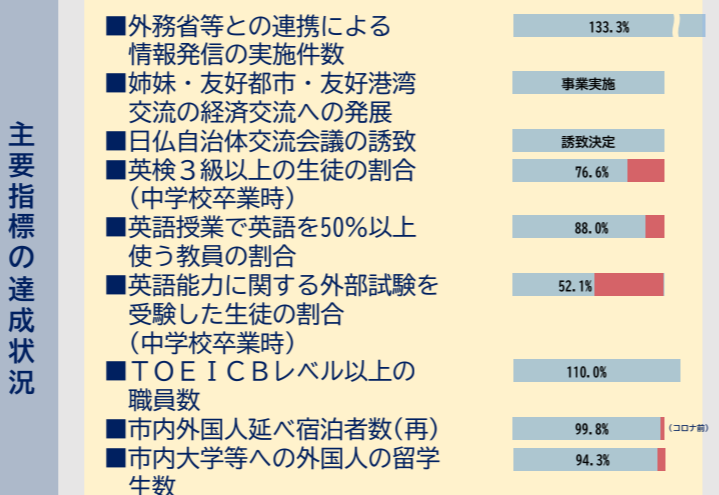
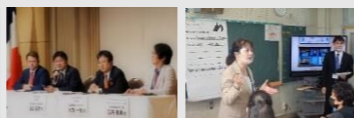
- 海外からの交流人口拡大
- 海外との経済交流を推進



主要指標の達成状況

<方針2> 地域外交を支える取組

- 国際的なプレゼンス向上
- 国際的な人材の育成
- 国際的な受入基盤の整備



主要指標の達成状況

2) 取組の成果と課題

- 成果**
- 全般的に目標を達成し、特に次の取組で成果があった
 - ・市内外国人宿泊者数 (基準年:59千人→H30:94千人)
 - ・訪日教育旅行での学校交流 (基準年:15件→H30:27件)
 - ・海外販路開拓企業数 (基準年:7件→年平均10件)
 - ・お茶取扱量 (基準年:210kg→R3:1,097kg)
 - 国際会議、ホストタウン、SDGs等を通じ海外ネットワークを拡大

- 課題**
- MICE誘致、合宿誘致、客船誘致、企業立地は取組が停滞
 - ・客船誘致、企業立地は増加見込める時期にコロナが拡大
 - 人材育成の主な施策は学校での英語力強化の施策のみ
 - 地域外交基本方針を知る部局は、庁内のわずか一部のみ
 - ・海外との取組は共有されず、各課が単独で実施し、海外とのネットワークも活かされていない

3) SWOT分析による現状把握

<Strength: 強み>

- ・地域資源(歴史、自然、食、文化)
- ・立地(港、空港、新幹線、高速道)
- ・ネットワーク(国/地域/都市、外交機関、国際組織、国際人材)
- ・交流経験(国際会議、ホストタウン)

<Weakness: 弱み>

- ・知名度(プレゼンス、情報発信)
- ・受入環境(資源活用、二次交通)
- ・コンテンツ(観光メニュー、ストーリー性)
- ・国際的視野(人材、取組)

<Opportunity: 機会>

- ・アタラシイ世界動向と活力
- ・技術革新による手法の多様化
- ・インバウンド需要回復、円安進行
- ・異文化理解機会の増大
- ・連携先の海外事務所活用

<Threats: 脅威>

- ・国際情勢悪化、保護主義顕在化
- ・世界的物価高、世界経済後退
- ・地球規模の課題の深刻化
- ・人口減少/少子高齢化
- ・都市間競争の激化

クロス分析

強み×機会 → 【積極戦略】

- インバウンド需要回復に先手を打つ
- ・訪日観光客誘致、教育旅行誘致を強化
- ネットワークと経験を活用する
- ・海外交流、企業海外展開の促進を強化

弱み×機会 → 【段階的戦略】

- 地域外交推進の基盤強化で弱点を克服する
- ・情報発信力、コンテンツの強化
- ・受入環境の整備
- ・国際人材育成、国際協力/貢献の取組推進

強み×脅威 → 【差別化戦略】

- 地球規模の難局を乗り越える
- ・SDGsハブ都市として取組を発信
- 差別化を図り都市間競争に打ち勝つ
- ・農産物の販路開拓や客船誘致を継続

4) 第2期方針策定における基本的な考え方と方向性

- 基本的な考え方**
- 第1期基本方針を発展的に継承し、地域経済のさらなる活性化を目指す。
 - 新たなネットワークを活かした取組、アタラシイ取組を反映する。
 - 庁内での情報共有と連携不足を克服するため体制強化を図り、これまで積み上げてきた外部との関係性も活かしていく。

方向性

- 1. 世界に輝く都市** → 【基本方針に反映させる】
 - ・世界とつながり、世界の活力を取込むとともに世界から選ばれた取組を進める。また、国際人材育成と世界への貢献に取組む。
- 2. 多彩な取組・柔軟な対応** → 【地域別方針に反映させる】
 - ・海外との交流は、市民・企業・行政への還元が期待できる交流を中心に、メリハリをつけ、多角的かつ臨機応変に取組む。
- 3. 連携促進・関係活用** → 【推進体制に反映させる】
 - ・庁内推進体制の強化と外部パートナーシップの活用を図ることで地域外交をさらに推進する。

2. 第2期基本方針について

目的

地域外交を通じた「世界に輝く静岡」の実現

推進期間

8年間(令和5年度～令和12年度) ※中間評価を実施

位置づけ

多文化共生推進計画とともに国際化推進の両輪となる方針

3つの基本方針(目指すまちな姿)

【基本方針1】世界に輝き、選ばれるまち

- 海外プロモーションや国際協力・貢献、国際人材育成に係る取組を展開し、プレゼンスを向上させることで、世界から選ばれるまちへの成長を図ります。

<バックキャスティングから導いたキーワード>
海外PR 国際協力・貢献 国際人材育成 海外でのプレゼンス向上

【基本方針2】世界の活力を取り込むまち

- 交流人口の拡大と経済交流の促進に係る取組を展開し、世界の成長や活力を積極的に取り込むことで、地域経済の活性化を図ります。

<バックキャスティングから導いたキーワード>
交流人口拡大 経済交流促進 地域経済の活性化

【基本方針3】世界とつながるまち

- 世界の都市や人々との様々な交流に係る取組を展開し、関係人口の増加や世界とのつながりを維持・強化することで、都市力の向上と地域の活性化を図ります。

<バックキャスティングから導いたキーワード>
関係人口づくり 多様な交流の推進 都市力の向上 地域活性化

関連施策

- 海外へのシティプロモーション
- 国際協力・国際貢献
- グローバルな子どもたちの育成・国際人材の育成
- 国際感覚を有する職員の採用と育成
- 姉妹都市をはじめとした海外との都市間交流の充実と発展
- スポーツ・文化を活かした交流
- 合宿の誘致と交流事業
- 訪日教育旅行の誘致
- 外国人の受入環境の整備
- SDGsの取組発信
- 市内企業等の海外展開支援
- 清水港の利用促進
- 訪日外国人観光客の誘致
- MICEの誘致
- 外国客船の誘致
- 農産物の海外販路開拓



地域別方針

重点国/地域/都市 (重点的に取組を推進する国/地域/都市)

最重要	★フランス(日自治体交流会議) ★カナダ(姉妹都市、政策研究覚書)	★台湾(観光/教育旅行/合宿誘致、商談) ★台北市(マツノ覚書、スポーツ交流覚書)	
重点	○オマハ、シカゴ、セントルイス、ストックトン(姉妹都市:米国)	○J市(友好都市、伝統工芸祭:パトナム)	○釜山市(まちは劇場、歴史文化:韓国)

世界の地域別方針 (これまでの取組を整理)

アジア・大洋州	北米・中南米	欧州	その他
---------	--------	----	-----

代表指標(SDGs指標と連携)

重点都市での報道件数	市内外国人延泊者数
0件 → 10件 R3 R12	8,838人 → 96,000人 R3 R12
清水港コンテナ取扱量	人材育成事業参加者数
562,610TEU → 699,265TEU R2 R12	2,743人 → 15,000人 R3 R12

推進体制

- 庁内体制強化 地域外交推進会議及び地域外交関係課長会議により推進体制を強化し、多文化共生推進計画の推進体制と連携
- 外部パートナーシップ活用 市外郭団体(SAME, するが企画観光局)、県(地域外交課、海外事務所等)、5市2町、関係省庁/機関(総務省、外務省、JICA等)、駐日外交団/国際機関(大使館、国連等)

番外編

1. 姉妹都市・友好都市の紹介 (オマハ、シカゴ、セントルイス、ストックトン、カンヌ、フエ)
2. コラムの掲載 (静岡市の地域外交を支える人や、各種団体からのメッセージ)

資料編

1. 5つのカテゴリについて、各種データを整理して提示(観光・交流、経済、人材、環境、第1期推進結果)
2. 用語集を準備